

事例番号:290220

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第六部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

膣分泌物培養検査 実施せず

妊娠 33 週 3 日 - 切迫早産、高位破水のため管理入院

#### 3) 分娩のための入院時の状況

管理入院中

#### 4) 分娩経過

妊娠 34 週 6 日

13:12 妊産婦に咽頭違和感、呼吸困難出現したため帝王切開により児娩出

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:34 週 6 日

(2) 出生時体重:2112g

(3) 臍帯血ガス分析(血液の種類不明):pH 7.369、PCO<sub>2</sub> 35.0mmHg、PO<sub>2</sub> 26.3mmHg  
HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 20.1mmol/L、BE -4.0mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 9 点、生後 5 分 10 点

(5) 新生児蘇生:実施せず

(6) 診断等:

生後 10 日

20:00 哺乳緩慢、顔色不良、黄色っぽい

21:00 体温38.0℃台、心拍数185-205回/分、経皮的動脈血酸素飽和度88-94%

22:55 元気がない、発熱のため高次医療機関 NICU へ新生児搬送

動脈血細菌培養検査で GBS 陽性

敗血症、髄膜炎、早産、低出生体重児、心不全の診断

(7) 頭部画像所見:

生後 13 日 頭部 CT で小脳、大脳は広範に低吸収となり、各構造は識別不能で、両側前頭葉に強い散在性の不定型の出血巣(髄膜炎に伴う静脈血栓性出血性脳梗塞)を認める

**6) 診療体制等に関する情報**

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 2 名、准看護師 3 名

**2. 脳性麻痺発症の原因**

(1) 脳性麻痺発症の原因は、GBS 感染症による髄膜炎であると考ええる。

(2) GBS の感染時期および感染経路は不明である。

**3. 臨床経過に関する医学的評価**

**1) 妊娠経過**

(1) 前期破水の妊産婦に対して膣分泌物培養検査を行っていないことは一般的ではない。

(2) 前期破水の症例を高次医療機関へ搬送しなかったことの医学的妥当性には賛否両論がある。

(3) 大黄甘草湯を妊娠中に投与したことは医学的妥当性がない。

**2) 分娩経過**

(1) 妊娠 34 週 6 日、感染徴候なく妊産婦の咽頭違和感、呼吸困難が出現したため、帝王切開を選択したことの医学的妥当性は不明である。

(2) 書面により帝王切開について説明、同意を得たことは一般的である。

(3) 臍帯血ガス分析を実施したことは一般的である。

**3) 新生児経過**

(1) 生後 9 日までの新生児管理は一般的である

- (2) 生後 10 日、20 時以降、児に異常を認めてからの対応(発熱を認め血液検査を実施、活気不良、発熱のため高次医療機関 NICU に新生児搬送を決定)は一般的である。

#### 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

##### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

- (1) 前期破水の妊産婦への対応については、「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2014」に則して実施することが望まれる。
- (2) 早産期の前期破水など子宮内感染が疑われる症例については、胎盤病理組織検査を実施することが望ましい。

【解説】胎盤病理組織検査は、早産期の前期破水など子宮内感染が疑われる症例については子宮内感染(胎児期の感染)の有無について唯一検索できるものであることから実施することが望ましい。

- (3) 大黃甘草湯の使用については、添付文書上の投与方法、投与量に従うことが望まれる。

##### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

新生児搬送体制に関して、搬送時の保育器の収容など速やかな搬送に向けて事前に院内における手順を決めておくこと、および普段よりシュミレーションなどを行い体制を整えておくことが望まれる。

##### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

###### (1) 学会・職能団体に対して

遅発型 GBS 感染症に対する疫学的調査、予防・診断・治療に対する知見の集積が望まれる。

###### (2) 国・地方自治体に対して

早産期に前期破水を認め子宮内感染が疑われる場合には胎盤所見が重要な意味を持つため、胎盤病理組織検査が実施できるよう財政的に支援することが望まれる。